公益財団法人 中東調査会
Middle East Institute of Japan
المعهد الياباني لبحوث الشرق الأوسط

2026 年
11 月 4 日
No.A26-07

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

# 中東調査会月間活動誌（2026 年 10 月）

## 1. 中東調査会主催の行事

### (1) トップ・ミーティング

・10 月 27 日（火）、高西 淳夫 早稲田大学理工学術院 教授「ヒューマノイド・ロボット研究とその応用」（於：オークラ東京）

〈要旨〉高西教授からは、ヒューマノイド開発の歴史に始まり、その開発がもたらす人間理解の深化、ロボット開発における領域横断的な性格、そして社会へのロボットの導入に伴う社会・法制度の整備の必要性についての議論が提起された。



### (2) 中東情勢講演会

・10 月 5 日（月）、遠藤 彰 駐イラク大使「バグダッドからの視点　最新のイラク情勢」（於：日本記者クラブ会見場）

〈要旨〉遠藤大使からは、ゼイディー政権成立をめぐるイラクの政治情勢や同国の最近の治安情勢、経済問題等について幅広い説明があり、同国の有する高いポテンシャルが指摘された。また、出席者との間で熱心な質疑応答が行われた。



・10 月 9 日（金）、菅谷 正道・中東第二課長「最近の中東情勢」（於：日本記者クラブ会見場）

〈要旨〉菅谷課長からは、イラン情勢を中心に、米国、イスラエルおよび湾岸諸国等の動き、ならびにイエメン情勢について説明があるとともに、中東地域をめぐる我が国の外交活動についても概要が示された。また、出席者との間で活発な質疑応答が行われた。



**（3）中東情勢オンライン講演会**

・10 月 15 日（木）、小林周 武蔵野大学准教授「北アフリカは「新たな湾岸」になるか？――ホルムズ海峡封鎖がもたらした危機と機会」

〈要旨〉講演では、湾岸情勢を経た北アフリカ地域のエネルギー開発をめぐるポテンシャルとリスクの両面、及び日本が果たしうる役割について、詳細な解説があった。質疑応答では、リビア情勢、アルジェリア情勢、中国・ロシアの関与等について活発なやり取りがあった。




## 2. 中東調査会の活動

**（1）中東トピックスの発行【会員限定】**

・2026 年 10 月号（2026 年 11 月 4 日付）

1. サウジアラビア：イエメンからの攻撃が続く
2. エジプト：サウジアラビアに軍事支援へ
3. イスラエル：西岸地区の衝突と軍の負担拡大
4. トルコ：R4・R4+E3 外相会合をイスタンブルで開催
5. リビア：代表議会が 2019 年のトルコとの海洋に関する覚書を承認
6. イラン：冬の到来を前にガス・電力不足の懸念

※内容はホームページをご参照ください。
（https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/）

**（2）中東かわら版の発行**

・No.79「レバノン：シリア人の密入国が続く」（特任研究員 髙岡 豊、10 月 7 日）
・No.80「エジプト：エチオピアの外交官をペルソナ・ノン・グラータに指定」（主任研究員 平 寛多朗、10 月 7 日）
・No.81「イラン：アフラーギー氏が新たな国防軍需相に信任」（研究主幹 斎藤 正道、10 月 19 日）
・No.82「イラク：ザイディー内閣の空席の閣僚を任命」（特任研究員 髙岡 豊、10 月 20 日）
・No.83「モロッコ：マンスーリー内閣が発足」（主任研究員 平 寛多朗、10 月 23 日）
・No.84「ヨルダン：テロの報復としてヨルダン軍がシリア南部を空爆」（主任研究員 平 寛多朗、10 月 27 日）
・No.85「シリア： 教科書の改訂が論争を呼ぶ」（特任研究員 髙岡 豊、10 月 28 日）
・No.86「イスラエル：選挙の暫定結果とネタニヤフ首相の「勝利」」（主任研究員 平 寛多朗、10 月 30 日）

※内容はホームページをご参照ください。
（https://www.meij.or.jp/kawara/）

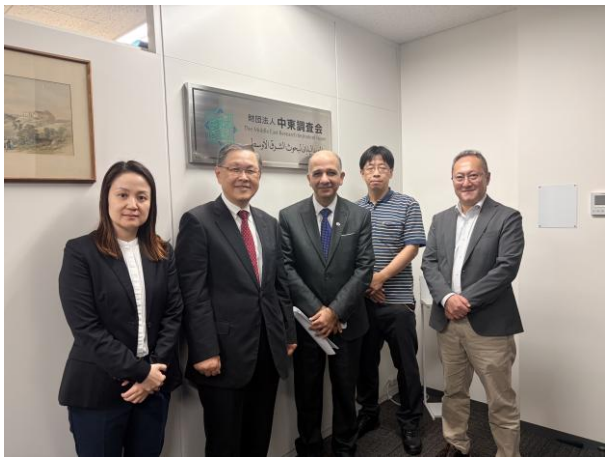
**（3）中東分析レポートの発行 【会員限定】**

・No.8「イスラエル各政党の主張と再選挙の可能性――徴兵法とアラブ政党をめぐる問題」（主任研究員 平 寛多朗、10 月 20 日）

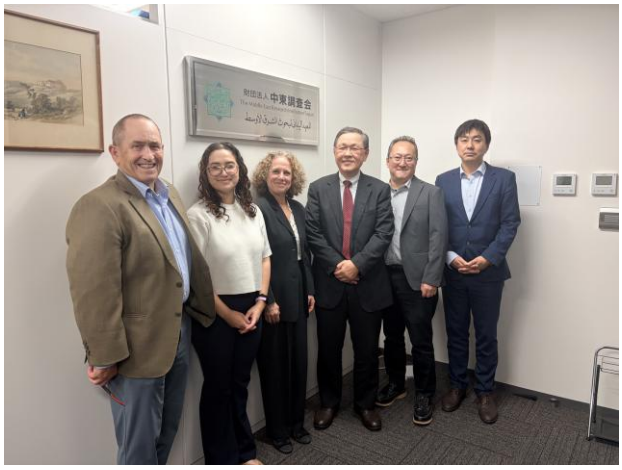
※内容はホームページをご参照ください
（https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/）

**（4）その他の活動**

・10 月 14 日、当会を訪問したムハンマド・アリー・シーヒー「カタル戦略調査グローバル研究所」所長と意見交換を実施した。



・10 月 28 日、当会を訪問したシーラ・ローウェンバーグ「AJC アジア・太平洋協会」局長と意見交換を実施した。



・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく B」へ当会研究員が出講した。

②10 月 7 日「ガザ情勢の現在」（平 寛多朗 主任研究員）

③10 月 14 日「トルコ（内政）」（金子 真夕 上席研究員）

④10 月 21 日「トルコ（外交）」（金子 真夕 上席研究員）

⑤10 月 28 日「エジプトの地域外交」」（平 寛多朗 主任研究員）

## 3. その他

**（1）要人往来**

・1 日、茂木外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。

・2 日、高市首相は、訪日したカタルのムハンマド・ビン・アブドルラフマーン首相兼外相と会談した。

・2 日、茂木外相は、訪日したカタルのムハンマド・ビン・アブドルラフマーン首相兼外相と会談した。

・5 日、中曽根副外相は、訪日したトルコのトゥズジュ貿易省副大臣と会談した。

・7 日、大空外務政務官は、訪日したリビアのエドビーブ高等教育・科学研究相とワーキング・ディナーを行った。

・7 日、宇野首相補佐官はトルコを訪問し、シュクルト運輸インフラ副大臣及びチェリク国庫・財務副大臣と会談し、オズメン大統領府投資・財務局副総裁と意見交換を行った。

・13 日から 15 日にかけて、中曽根副外相は高市首相の特使として、トルコを訪問し、ユルマズ副大統領を表敬、エキンジ副外相及びトルコ・日本友好議員連盟と会談した。

・15 日、茂木外相は、サウジアラビアのファイサル・ビン・ファルハーン外相と電話会談を行った。

・22 日、中曽根副外相は、訪日中のカタルのフライフィ外務省国務大臣と会談した。

・26 日、茂木外相は、訪日中のカタルのフライフィ外務省国務大臣の表敬を受けた。

・30 日、G20 外相会合に出席するため米国・アトランタを訪問した茂木外相は、トルコのフィダン外相と会談した。

・31 日、G20 外相会合に出席するため米国・アトランタを訪問した茂木外相は、サウジアラビアのファイサル・ビン・ファルハーン外相と会談した。

**（2）外務省人事**

・20 日（火）　発令
駐イスラエル大使　加納雄大
・20 日（火）　発令
駐エジプト大使　長岡寛介

## 4. 11 月の予定

・11 月 26 日（木）8：30～10：00、**トップ・ミーティング（兵頭　慎治 防衛省防衛研究所研究幹事「ロシア・ウクライナ戦争の現状と展望－我が国の安全保障への影響－」**)、於：オークラ東京 プレステージタワー7 階 「メイプル」**（※法人会員限定）**
・11 月 27 日（金）16：00～17：30、**中東情勢オンライン講演会（浅利 秀樹 駐ヨルダン大使「ヨルダンと中東の戦略環境（仮）」**）

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールや HP をご参照ください。
（https://www.meij.or.jp/event/）

**＊会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。**
**＊ログインに必要な ID とパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。**